

【1-4】研究テーマを見つけよう

〔Step1〕問いとリサーチエスションの作成

- 1 自身が関心のある事物を書き出してみましょう。
(ヒントは、学校、ニュース、本、雑誌、社会、文化、自然、芸術、インターネット、身近なもの、趣味、特技…)
- 2 それぞれの事物の中から、問い(素朴な疑問や思いつく問題)をあげましょう。
- 3 2を現実的な視点(社会・学術の課題など)と関連付けて、リサーチエスションにしていきましょう。
- 4 書き出した中から、クラスで共有したいものをスプレッドシートに回答してください。

(例) 桃太郎	⇒	きびだんごは美味しいのか	⇒	複数の動物が食べる団子状の餌を作れるのか
↑ 関心のある事物		↑ 問い(素朴な疑問、思いつき)		↑ リサーチエスション(現実社会と関連させた課題)
(自由に書き出し)				

○問いからリサーチエスションに進めていくための手がかり。

①	言葉の意味や定義を問う	○○の意味は？ ○○の定義は？
②	原因を問う(★)	なぜ○○は生じているのか？
③	信ぴょう性を問う	○○は本当に生じているのか？
④	比較を問う(★)	○○は過去と比べてどう変化しているか？
⑤	先行研究・事例を問う	○○に対して、どのような取り組み、研究が行われてきたのか？
⑥	影響を問う(★)	○○によってどのようなことが起こるのか？
⑦	方法や関連性を問う(★)	どのようにして○○は行われているのか？ ○○と△△にはどのような関連があるのか？

(★)…科学的アプローチによる研究を進めやすい(推奨)。

[Step2] リサーチクエストの発展

5 自身の記述やスプレッドシートを参考に、詳しく調べたいと思うものについて記載しましょう（表を段分けて、複数記載しても可）。

関心のある事物	問い	リサーチクエスト

6 先行研究・調査 … 5のリサーチクエストについて、世の中での取組をまとめましょう。

（URL が長い場合、検索に用いたキーワードを記しましょう。URL は、Word やドキュメントに URL をコピーして保存するとよいでしょう）

①ホームページ（大学・企業等のホームページでの解説、官公庁による統計データなど）

組織名	発信年	タイトル	URL (キーワード可)	閲覧日
リサーチクエストの 発展に通じる内容				

②論文（Google Scholar, CiNii など、インターネットを通じて見つけた論文を含む）

著者	発行年	タイトル	雑誌名	巻(号)	閲覧日
リサーチクエストの 発展に通じる内容					

③新聞

新聞名	発行年	記事のタイトル	〇〇県版など	月日・朝刊 or 夕刊	閲覧日
リサーチクエストの 発展に通じる内容					

7 先行研究・調査を踏まえて、発展させたリサーチクエストを記しましょう。

関心のある事物	リサーチクエスト（発展版）	動機（問いを踏まえて記入）

【Step3】プレゼンテーションと質疑応答の心得

1 プレゼンテーションのポイント … 聴き手の視点に立って、相手に発見があるように伝えること

自身が準備したスライド・原稿についてチェック!!	
☐ スライドの写真・文字は、見やすい大きさ?	☐ スライドに文字が多くて、伝わりにくいところはない?
☐ 原稿を読み上げるだけの準備になっていない?	☐ 伝えたいポイントや強調したいことは把握できている?
☐ リハーサルをして、所要時間を確認した?	☐ リハーサルをして、流れの悪いところはなかった?
☐ 曖昧なところを残したまま、発表に臨もうとしていない?	☐ 質問に答えるための心の準備はある? (以下参照)

プレゼンでは、「聞き手に新たな発見をもたらす」ことが大切です。淡々と、「関心のある事物です」⇒「問いです」⇒「リサーチクエスションです」⇒「先行研究です」⇒「リサーチクエスション発展版です」とスライドを作るのではなく、「この写真からどんな疑問を持ちますか?」⇒「私はこのことに問いを持ちました」などと展開することで、聞き手は注目することができます。

2 質問のポイント … 「聴くときの姿勢」を確認しましょう。

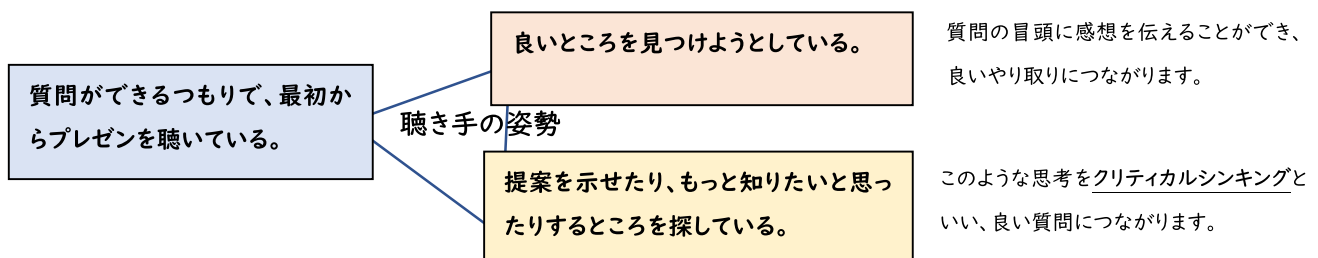
「質問はございますか」と聞かれて…

×誰も質問しない(し〜ん)…「聴衆は何も考えてないの?」と思われるかもしれません。質問をするのは発表者へのマナーでもあります。

○良い質問の例

「×組の△△といいます。〜〜〜について、大変興味深かったです。ところで□□についてですが、☆☆ということも考えられますが、いかがでしょうか。」

「なぜ、そんなふうに聞けるの?」その原理は…



3 応答のポイント … 発表までに、次のようなことを整理しておくといいでしょう。

- ☐ スライド発表にいたるまでには、どんな過程があったのか。
- ☐ スライドで伝える内容には、背景にはどのような関連事項があるのか。
- ☐ どこまでを現在の自分が把握していて、どこからが今後探究しなければいけないか。

[Step4] プレゼンテーション と 質疑応答 の実践

今回はリサーチエスチョンの発表です。将来的に発表や質疑応答をしていくことを見据えて、
「good (=自分にとっての発見)」を1つ、「critical (=こんなリサーチエスチョンもありそう)」を見つけるようにしましょう。
(それぞれの発表に対して心掛けた上で、書けることを見出し場合はメモをしましょう。)

1 Round

タイトル・キーワード	自分にとっての発見	こんなリサーチエスチョンもありそう

2 Round

タイトル・キーワード	自分にとっての発見	こんなリサーチエスチョンもありそう

3 Round

タイトル・キーワード	自分にとっての発見	こんなリサーチエスチョンもありそう

発表と質疑応答を通じて、自身のプレゼンを改善する手がかりなどが見つかったら、メモしておきましょう。

--